



カンナの刃を研ぐ手間などを
惜しまない職人氣質が
同業に喜ばれています。

松島建具工芸



松島建具工芸

所在地／〒831-0044

福岡県大川市紅粉屋22-2

代表者／松島 宇喜雄

TEL0944-86-6830

FAX0944-86-6830

創業／平成7(1995)年

従業員／3名

営業時間／8:00～18:00

定休日／日曜・祭日



「昔、職人は皆、丁稚奉公のように住み込みで働いたものです」と、話す松島社長。社長も15歳から建具店に住み込みで腕を磨き、後に独立して創業したといいます。同業の建具屋からの注文が多く、一般住宅や店舗の障子、フラッシュドアを含むドア類などを製造しています。材は福岡で開かれる市などに出かけて丸太1本を競り落とし、問屋で預かってもらって乾燥させ、必要な分だけ工場に届けてもらっています。

60年以上のキャリアの中で大事にしてきたことは、時間をかけて丁寧に仕上げること。例えば他社が1日に10枚つくってれば、松島社長は8枚に抑え、1枚に少しでも多くの時間をかけています。凝ったデザインならまだしも、格子の障子もそうです。

では、どこに時間をかけるのか？ それはカンナの刃といった、商品には表れにくい部分です。カンナの刃を研ぎ、あたりのいい刃で最後の仕上げをすると、見た目が美しく仕上



がります。ほんのちょっとした部分であり、気にしないお客様もいるでしょうが、松島社長の気がすみません。何十年にわたって同業者との取引が続くのは、単価が同じだからという理由ばかりではないでしょう。材の選び方や組み方によって表情が変わる建具。柾目、逆目といった木目を見ながら、全体のバランスを考え、お客様の意向にあう商品をつくり上げる。それが職人としての醍醐味です。



TOP VOICE

息子が跡を継ぎ、私はそろそろ引退と思うのですが、同業者はそうはさせてくれそうにありません。